学校番号	3017

令和２年度　英語科

教科	英語	科目	英語表現	単位数	前期：１	年次	２年次
校内名称	英語W			ユニット数	1.5	必選別	必
使用教科書							
副教材等	Basic Skills for the TOEFL iBT Listening 2 (Compass Publishing) Basic Skills for the TOEFL iBT Speaking 2 (Compass Publishing) システム英単語						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「英語W」では、これまでに身に着けてきた語彙力とハイレベルなリスニング力をさらに強化し、その上で、1時間の中でReading→Listening→Speakingの順で4技能統合型Writingの授業を行う。Writingは決して感覚で書くものではなく、確実な語彙、明快な文法、一貫した論理展開をもって書くものである。「英語W」ではその力を養う。

授業では、毎回シス単小テストを行い、Listening と4技能統合型Writingはハンドアウトを用いてペアワークを中心に行う。積極的な態度で参加すること。

復習としては、小テストの復習、Reading・Listeningの語彙・文法の確認、Listeningのスクリプト暗唱、Speaking・Writing で自分に不足していると感じた語彙・文法・構文の復習に取り組むこと。

2　学習の到達目標

大学入試および大学進学後に求められるSpeaking, Writing の力は、日常会話レベルや日記レベルではない。高い専門性と論理性を備えた、学術的な発表および論文レベルの英語力が求められる。高いレベルの英語の力は定着するのに一年以上かかる。そのことを念頭に置いて、2年次から語彙・文法・論理展開の力を磨いてゆき、最終的にアカデミックレベルの英語力に到達することを目標とする。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心･意欲･態度	b:思考･判断･表現	c:技能	d:知識･理解
観点の趣旨	意欲的に授業参加することができているか 授業中のアクティビティ等の取り組みに、積極的に参加できているか	インプット情報を整理し、アウトプットに必要な情報を取捨選択できているか 正しい英語の表現ができているか	ある程度のまとまった長さの英文を読み、聞いて理解できているか それらを適切に用いたスピーキング・ライティングができるか	リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングに必要な文法知識、科学、人文学、社会学などの知識を持っているか
評価方法	出席・アクティビティ・課題提出	考査・ハンドアウト	考査・ハンドアウト	考査・小テスト・課題提出

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
評価点の割合は、考査点８０％程度、平常点２０％程度です。

4　学習の活動

4　学習の活動

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
前期中間 10時間	芸術・植物学・地理学 について、その特性・データ・問題点・筆者の考えを述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		間違うことを恐れず、積極的に芸術・植物学・地理学についての情報や考えについて話す。	段落ごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアまたはグループで伝え合う。	間違うことを恐れず、積極的に芸術・植物学・地理学についての情報や考えについて話している。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、芸術・植物学・地理学についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	芸術・植物学・地理学について、データや数値などの情報をリテリングし、自身の考えなどをペア・グループで互いに発表しあう。	この単元で学んだ語句や表現を用いて、芸術・植物学・地理学についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズにを正確に理解し、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		本文の内容を理解する際に必要な芸術・植物学・地理学の文化的歴史的背景について理解する。	本文の内容を理解する際に必要な芸術・植物学・地理学の文化的歴史的背景について調べたり確認したりし、ペア・グループで情報を交換する。	本文の内容を理解する際に必要な芸術・植物学・地理学の文化的歴史的背景について理解できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
前期期末 10時間	文学・政治・言語 について、その特性・データ・問題点・筆者の考えを述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		間違うことを恐れず、積極的に文学・政治・言語についての情報や考えについて話す。	段落ごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアまたはグループで伝え合う。	間違うことを恐れず、積極的に文学・政治・言語についての情報や考えについて話している。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、文学・政治・言語についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	文学・政治・言語について、データや数値などの情報をリテリングし、自身の考えなどをペア・グループで互いに発表しあう。	この単元で学んだ語句や表現を用いて、文学・政治・言語についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズにを正確に理解し、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		本文の内容を理解する際に必要な文学・政治・言語の文化的歴史的背景について理解する。	本文の内容を理解する際に必要な文学・政治・言語の文化的歴史的背景について調べたり確認したりし、ペア・グループで情報を交換する。	本文の内容を理解する際に必要な文学・政治・言語の文化的歴史的背景について理解できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。

単元 （配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
後期中間 10時間	歴史・建築・化学 について、その特性・データ・問題点・筆者の考えを述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		間違うことを恐れず、積極的に歴史・建築・化学についての情報や考えについて話す。	段落ごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアまたはグループで伝え合う。	間違うことを恐れず、積極的に歴史・建築・化学についての情報や考えについて話している。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、歴史・建築・化学についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	歴史・建築・化学について、データや数値などの情報をリテリングし、自身の考えなどをペア・グループで互いに発表しあう。	この単元で学んだ語句や表現を用いて、歴史・建築・化学についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズにを正確に理解し、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		本文の内容を理解する際に必要な歴史・建築・化学の文化的歴史的背景について理解する。	本文の内容を理解する際に必要な歴史・建築・化学の文化的歴史的背景について調べたり確認したりし、ペア・グループで情報を交換する。	本文の内容を理解する際に必要な歴史・建築・化学の文化的歴史的背景について理解できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
後期期末 10時間	環境・健康・科学技術 について、その特性・データ・問題点・筆者の考えを述べた内容。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		間違うことを恐れず、積極的に環境・健康・科学技術についての情報や考えについて話す。	段落ごとの内容に対する感想や意見について話すためのキーワードをメモし、それを参考にしながらペアまたはグループで伝え合う。	間違うことを恐れず、積極的に環境・健康・科学技術についての情報や考えについて話している。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		この単元で学んだ語句や表現を用いて、環境・健康・科学技術についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話す。	環境・健康・科学技術について、データや数値などの情報をリテリングし、自身の考えなどをペア・グループで互いに発表しあう。	この単元で学んだ語句や表現を用いて、環境・健康・科学技術についての情報や考えなどを、聞き手に伝わるように話すことができる。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査の記述部分を判断材料として活用する。
		「外国語理解の能力」			
		ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズにを正確に理解し、論理展開を把握する。	ディスコースマーカーやキーフレーズに注意して文章を読み、論理展開を把握できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		本文の内容を理解する際に必要な環境・健康・科学技術の文化的歴史的背景について理解する。	本文の内容を理解する際に必要な環境・健康・科学技術の文化的歴史的背景について調べたり確認したりし、ペア・グループで情報を交換する。	本文の内容を理解する際に必要な環境・健康・科学技術の文化的歴史的背景について理解できている。	ペア・グループワークの様子、授業中の提出物、授業中のスピーキング評価、および定期考査のリスニング部分を判断材料として活用する。